

“健康経営”で働きやすい環境をつくります！

財団は令和3年度事業計画で「働き甲斐のある職場を目指し、職員がより長く勤められ、一人ひとりの能力が発揮できる職場環境を整備していく」ことを掲げています。その取組の一環として、健康経営への取組をより推進していくことといたします。

その決意・行動指針として令和3年5月に「財団健康経営宣言」を策定し、また今後の取組の推進体制および重点施策を以下のように決めました。

財団健康経営宣言

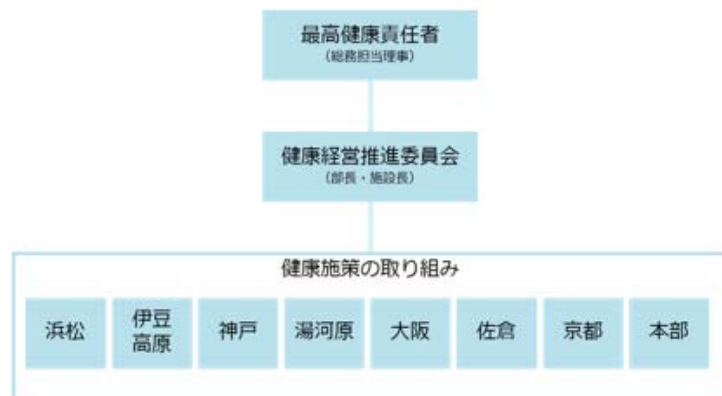
日本老人福祉財団は、基本理念「老後の“安心”と“幸せ”を提供する」、ケア・スピリット「私にとって、あなたはとても大切な人です」を羅針盤にして高齢者コミュニティ創りに取り組んでいます。

より質の高いサービスを提供するためには、職員一人ひとりの能力を高め、働きやすい職場作りが必要です。わたしたちは、人が健康であり続けること、健康維持・増進を大切にした運営を、法人が一体になり取り組むことを宣言します。

重点施策

- 生活習慣病などの疾病の高リスク者に対する重症化予防
- メンタルヘルス不調等のストレス関連疾患の早期発見・対応
- がんの早期発見と仕事と治療の両立支援

健康経営推進体制



健康経営とは

- 健康経営とは、従業員の健康保持・増進の取組が、将来的に収益性等を高める投資であるとの考えの下、**健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践**することです。
- 企業が経営理念に基づき、**従業員の健康保持・増進に取り組むことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化**をもたらす、結果的に**業績向上や組織としての価値向上へ繋がる**ことが期待されます。

私がCHO*の小口です！



*CHO(Chief Health Officer)とは最高健康責任者の略語です。